

安心して働き、生活できる前提は『平和』あってこそ 人間らしく働く権利・要求前進へ学習し行動を!



第558号

発行所
自治労連愛媛県本部
松山市三番町8丁目10-2
電話(089)931-7312
FAX(089)933-1699
jehime@sage.ocn.ne.jp
発行人 森賀 俊二
編集人 和氣 伸二
(組合員の個人情報は組合員の
同意なく含まれていません)

日程

- 【7月】
- 22 青年部定期大会 (県本部)
- 自治労連青年部全国委員会 (大阪)
- 自治体学校 (岡山~24)
- 23 自治労連非正規公共評全国代表者会議 (web)
- 26 中央行動
- 西条市職労定期大会
- 27 伊予市職労定期大会
- 28 宇和島市職定期総会
- 30 原爆死没者合同慰霊祭
- 【8月】
- 上旬 人事院勧告
- 2 南予総支部定期総会 (西予)
- 9 千羽鶴を海外へ送るつどい (教育会館)
- 10 西予市職労団体交渉
- 自治労連共済全国支部長会議 (web)
- 12 県本部拡大執行委員会・単組代表者会議
- 26 自治労連事前会議 (山口)
- 27 自治労連定期大会 (山口~29)

愛媛県境で終結、四国コース無事終了 核兵器禁止条約署名や請願で前進!

7月2日、平和行進愛媛コースが愛媛・高知県境で終了し、四国コースが無事に終えることができました。2日は前日の大雨から一転、快晴となった。高知と愛媛の県境に21人が集まり、終結集会を行い、「核兵器のない世界へ」「核兵器禁止条約に参加する政府に」という思いを共有しました。愛南町内を行進し、一本松から終結集会の場所へ向かい高知実行委員会と合流。愛媛から14人、高知から7人の参加で終結集会を行いました。集会では、片岡・平和行進愛媛県副実行委員長が「内子町で『政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める請願』が採択された」と報告。高知からは「若者24人と15人が大型バス1台で広島での世界大会に参加予定。長崎にも5人が参加予定」と発言。今年の平和行進つどいを開催します。



《平和行進四国コース》



《原水禁四国大会》



前川さんは自身の青年期、原水協で働いている経緯を話し、今の世界情勢や核

「核兵器のない世界へ」と題して話されました。特別決議を読み上げ、参加者一同で決議しました。



核使用は世界を危機に追い込む 世界の声「核廃絶」実現させよう

7月8~9日、「第69回原水禁四国大会 in 愛媛」がえひめ共済会館で開催され、45人とwebで24名、高知から7人の参加で終結集会を行いました。集会では、片岡・平和行進愛媛県副実行委員長が「内子町で『政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める請願』が採択された」と報告。高知からは「若者24人と15人が大型バス1台で広島での世界大会に参加予定。長崎にも5人が参加予定」と発言。今年の平和行進つどいを開催します。



【県本部】

次世代育成関係休暇学習会② 制度・課題・職場現状を出しあおう

県本部は6月24日、「次世代育成関係休暇学習会」を開催し4単組7人が参加。はじめに県本部堀川書記次長が休暇制度と組合での休暇取得の上での課題ととりくみの方

「育児・介護支援の休暇制度を資料をもとに確認し、特に育児休業では制度改定と期末・勤怠手当支給額・社会保険料免除、市町村職員共済の補てんなども確認。各単組で「休暇制度改定のお知らせ」「育児部分休業を取得した方の声」「婦人部懇談会のアンケート」などを紹介し、「組合のチカラ

自治労連共済の制度・加入拡大、インボイス制度への対応を学習



自治労連共済愛媛県本部は6月24日、「共済学校」を開催し県内10支部から20人が参加。講師として自治労連共済から打越好子さん(四国ブロック担当)を招き、共済制度・共済拡大の2つのテーマで学習交流を実施。まず、共済制度では、新型コロナウイルスに対する共済給付の対応が発症時に触れ「発症時期によって必要書類が違ってくることに留意してほしい」と説明がありました。また23年制度改定の項目にも触れ、火災共済の風水害特約が新設されたことや損害区分に中規模半壊が新設されたことなどの説明がありました。共済拡大では、春の共済拡大運動での全国的な事例が紹介され、「新採プレゼント」での受け取り者増加のための組合説明会での工夫や組合員のニーズに合わせた支所独自の設定など、共済ニュースの内容に基づきながら説明がありました。拡大の単組交流では「新採職員の考え方には変化があり、共済プレゼントの趣旨説明を、ていねいにしなければ受け取ってもらえない」「新採プレゼントの受け取り者の中にはプレゼント期間中に給付を受ける人が毎年1人はいる。こうした方は必ず更新してもらえらる」と状況の報告がありました。打越さんは「高知支部作成の共済説明パワーポイントの資料を示して『現在の共済加入者の分析を行い、拡大の課題を明確にしながらとりくまれている』と説明しました。



【愛媛共済学校】

は加入者と組合員の声、声に基づいた要求だからチカラを持つ」と実際に改善した事例なども紹介し「より良い制度にしよう」と話しました。参加者交流では「生理休暇」ではなく新居浜市の『女性性休暇』の名称の方が取りやすい」「男性の育児休暇が増え、『有給取得率を落とさないように』と言われるが、有給は子どもや何かのときに取っておきたい。特別休暇等も含め1人が何日休暇取得しているかの指標も必要ではないか」などの意見が出されました。



【西予】予 今年の前進と課題報告し 団結してのとりくみを確認

西予市職労は6月28日、定期大会を開催し78人が参加。1年間の経過報告で上甲委員長が「十数年要求し続けた日直業務廃止が実現できた矢先の今年2月末、市立病院等への指定管理者制度導入提案があった。組合として、今後も当局と粘り強く交渉を続ける」と総括。また大園副委員長から「民

営化の提案直後から、親組合や県本部の協力により、学習会や対策会議を開催している」など報告。そのほか事業報告などすべての議案が承認された。川上新委員長は「民営化問題という大きな課題がある中、この課題への対応に留任いただいた前年度役員とともに精一杯頑張りたい」と決意を表明。新組合員の自己紹介もあり、最後に集合写真を撮影して大会を締めくくりました。



【中予総支部】 定期総会を開催。新役員、大会参加・補助など協議

中予総支部は6月28日定期総会を開催し、3単組4人が参加。活動経過では市町村職員共済組合議員選挙で予定した候補者を当選させることができた、など報告。会計決算を確認し、次年度の中予総支部関係の県本部役員選出についても確認した。

8月27・29日に開催される自治労連定期大会の概要と事前会議参加・代議員選出を要請しました。また各大会などへの参加での費用負担については、中予総支部で相談し補助を行うこととし、すでに開催が決まっている会議などについても確認しました。近藤総支部長（東温市職）ほか、新役員を選出し、総会を終えました。



【内子】定期大会で給与改善など確認 全員加入の強み活かす方針決定

内子町職は7月6日、定期大会を開催。県本部から森賀委員長が来賓あいさつで「内子町職が勝ちとった初任給改善・在職者調整（全職員）は、注目されており、初任給改善が会計年度職員、内子社協、みどり苑にも拡大し、地域全体の底上げ

につながっている」と激励。各分野にわたるこの1年間の経過を確認した後、方針では、山中委員長が「内子町職の強みは全員加入。強みを活かした要求活動、組合員交流を進めよう」と力強く表明。最後に、役員選挙を行い、力石新委員長が確認され、力強い『団結力ンパロー』で大会を締めくくりました。大会終了後、懇親会を行い、組合員の交流を深めました。



《自治労連将棋大会》

四国ブロックチーム4位に 地域を超えた交流も大事

7月14・15日、自治労連第27回全国将棋大会が自治労連会館で行われ、7地方組織11単組、大会実行委員会を含め26人が参加。大会は2019年以降中止されていたこともあってか欠場もあり、7チームでの総当たり戦で行われ四国ブロックチームは4位の成績を収めました。今大会ではゲスト

としてプロ棋士・勝又清和七段を招き、空き番チームとの三面指導対局や景品付き詰め将棋などを実施。アンケートには「全チームと対戦でき新鮮でよかった」「組合員どうしの地域を越えた交流の場は大事。文化・伝統を守るためにも、ぜひ大会継続を」「この大会が自分の将棋のモチベーションにつながっている。腕をみがいて来年も挑みたい」などの声が寄せられました。



【山】全国将棋大会への出場決定を報告 人勧や西予指定管理など意見交換

松山市職労は7月10日執行委員会を開催し13人が参加。活動経過では、四国ブロック将棋大会で貝崎組合員がベスト3に入り、自治労連全国将棋大会に代表参加することが報告されました。情勢学習では、県本部役員が新聞記事から「高齢者の

ゴミ出し支援」安否確認を兼ねた個別回収が全国で広がり、総務省が特別交付税を摘要」など報告し、8月上旬人事院勧告で公務員給与改善につながることを提起。協議事項では、大会や会議参加、自治労連共済などで意見交換。最後に、県本部役員が『自治体の仲間7月号』の西予市職労の記事から全県の注目と支援をよびかけました。



【伊予】第4回くみあいカレッジを開催 伊予仕事から趣味まで楽しく学ぼう

伊予市職労は6月28日「くみあいカレッジ」お金について学ぼう（基礎編）を開催。第1回Excite部、第2回仕事部、第3回モチベーション部に続く今回は四国労働金庫を講師に迎え、1年目から大先輩まで合計9人が参加。今回は基礎編ということでお金の基

本の「き」を学びました。参加者から「貯金だけでは今後が心配だが、今まではお金について学ぶ機会がなかった。今回の基礎編には興味があり受講してよかった」などの声があり、今までもあまり金融教育を受けたことがない参加者にとって、良い経験になりました。組合員への積極的還元を目指し、「組合ならではの活動」を今後も追求・実践していきます。

おたより ありがとう

- 梅雨明け！早くもうだる暑さですが夏バテしないように、たまには美味しい物を食べて乗り切りたいものです。
(新居浜・藤井)
- 飲み会やイベントが復活しました！日々忙しいけど、人と関わり笑って、充実してるってウキウキしてます！
(新居浜・山本)
- 上の子の入学当時から
(宇和島・青木)
- 3カ月前ぐらいから定年になった夫が家の周りの壁を塗って、先日やっと終わり、綺麗になりました。
(津島吉田・毛利)
- 物価高騰による賃金改善の誌面を読んで。私たち組合員の声を届けていただいてありがとうございます。財政不足も深刻ですが、一人ひとりが節電や課内でのとりくみに気をつけたいと思います。
(新居浜・杉田)

マス目を埋め、二重枠の10文字で、ある児童文学にして下さい。

【ヨコのカギ】

- ①扁平足。足の裏が外側を向いている
- ④首筋の髪の毛の生え際
- ⑦愛媛だと「今治西高校」の略
- ⑧広く物事を知っている人。博識
- ⑨〇〇〇〇⇔高すぎ

【タテのカギ】

- ①学園を舞台にした作品のこと
- ②1877年設立。日本赤十字社の前身
- ③〇〇⇔祖母
- ⑤リス科。背に黒い縦縞が5本ある
- ⑥足でペダルをこぐ、〇〇〇〇ボート。スワンボートなど

出題者 堀川孝行

■556号のパズルの答えは「カティキヨウシ」(家庭教師)でした。正解は13通でした。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。(敬称略)

毛利 恵美 (津島吉田)
小野珠李亜 (新居浜)
青木 将吾 (宇和島)
山本 未紗 (新居浜)
鈴木亜希子 (新居浜)

【応募方法】パズルの解答、氏名、住所、単組名を忘れずに。また、余白に紙面の感想、職場や家庭での出来事などをお書きください。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。

【送り先】自治労連愛媛県本部バズル係 〒790-0003 松山市三番町8丁目10-2 (FAX、メールも可) 1面題字下に記載

【締切り】8月27日【発表】560号(9月号)